



安全ニュース【2025年11月号】



(株)スタンダード運輸

(株)茨運 スズ工電機(株)



無理な割り込みの危険を予測して運転しよう



皆さんは、高速道路などですぐ前に進路変更をされてびっくりしたことはないでしょうか？

危険は割り込みは非常に迷惑ですが、**割り込みに慌てて急な操作をするのも禁物**です。

2015年11月にトラックが兵庫県三木市内の山陽自動車道の走行していたところ、前方に車線変更しようとする普通自動車割り込みました。

トラックの運転者は追突を避けるために急ハンドルを切ってそのまま路外に逸脱、道路左側のガードレールに衝突した弾みで横転し、積荷がすべて周囲に散乱して6時間にわたり通行止めとなった。幸いトラックの運転者は軽傷で済みましたが、一つ間違えば大惨事になっていたところでした。



中央寄り車線を走り続けるとこうした危険な割り込みにあいやすいので、**追い越しなどがすんだら速やかに走行車線に戻る習慣を身につけよう**。
また、**左側車線から速度を上げて接近してきた車がいたら、自車の前への割り込みを予測して、早めに速度を落として対応**するようにしましょう。



コメンタリー運転をしてみませんか？



コメンタリー運転とは、刻々と移り変わる交通の状況を **声に出す** ことによって安全意識を高める運転方法です。



例えば、**青信号で交差点を通過する場合**に、ただ漠然と通過するのではなく、「**信号青!**」と声に出します。そうすることによって、目で認知した「青信号」という情報をより確かなものにすることができ、信号の見落としといったミスを防ぐことができます。

また、こちらが青信号で、交差点が赤信号で**歩行者が信号待ち**をしているような場面では、**歩行者注意!**と声を出します。そうすれば、歩行者に注意が向きますので、たとえ歩行者が信号無視をしてきても対応することができます。

自分が「**ボーッとしているなあ**」「**今日は緊張感が足りないなあ**」などと感じた**時**、声を出して運転してみてください。意識が引き締まって、周りの状況が良く見えるようになります。



自分を見つめ、ボンヤリ運転を防ごう



交通事故の原因を調査すると、**安全不確認や臨見運転、漫然運転**といったヒューマンエラーが原因になっていることが多く見受けられます。

パテラン運転者と呼ばれる人たち程、こうした傾向が強いと言われています。運転歴が長くなると、運転に「余裕」が出てくるため、運転者に「慣れ」が生じます。そうすると、つい「よそ見」をしたり、運転以外のことを考えてしまうために**つまらない事故**を起こしてしまうのです。



この種の事故を防ぐためには、**ボンヤリしている自分に気付く**ことです。たとえば、いつも通っている道路を運転しているとき、「**漫然と運転していて、安全確認がおざなりになっていないか**」などと、**絶えず意識して自分を見詰め直す**ことです。

そして、漫然と運転していることに気付いたら **信号青、よし!**と声を出して確認するなど、**気持ちを引き締め直して運転**するようにしていきましょう。

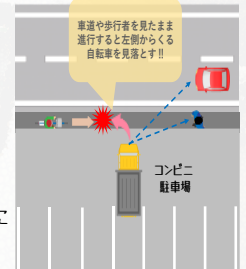


駐車場から出るときは歩道前で一時停止を



2022年4月、岡山市の道路沿いにあるコンビニの駐車場から車道に出ようとした大型ダンプカーが歩道を自転車に乗った高齢者 85 歳)と衝突して、高齢者が死亡する人身事故が発生しました。

ダンプカーの運転者(29歳)は歩道をよく確認しないまま駐車場から出たものと思われます。



狭い道から広い道に合流する時も同様の見落としをしがちですが、こうした交差点では歩行者が切れているので自転車も警戒します。

コンビニの前などを倉庫する自転車は出てくる車が止まってくれると思い込んでいることが多いので、安全確認を念入りに行う必要があります。

歩道を横切るときは一時停止をして、歩行者等を優先するのは道路交通法上の義務であることを再認識しましょう。



70%の人が運転中に考え事をしている？



皆さんは、運転中に何か考え事をしていて、ボーッと運転していることはありませんか？

前を見ているつもりでも、標識や信号などはちゃんと認識していないこともあり、交通事故に結びつく**「漫然運転」**という事故原因になります。

2013年11月、川崎市中原区の路上でAM9時半頃、横断歩道を渡っていた小学2年生の女児と女性会社員が信号無視のトラックにひかれて重傷を負ったという事故が発生しました。トラックの運転者は「つい考え事をしていたり、赤信号を見落とした」と供述していました。こうした事故に結びつく危険があるので、**運転中には考え事をしな自分**を意欲し、自己コントロールをすることが大切です。



運転に集中

「コメンタリー運転」など**呼称運転(確認喚呼)**をすると、他の理念があるときにも脳の意識は運転へ戻ってくるといわれています。**運転中は常に「運転に集中しよう」と自分に言い聞かせるとともに、呼称運転などを取り入れる**ことも考えてみましょう。



・**駐車時の輪留め(2個)の徹底**

・**業務中のヘルメット着用**

今一度、原点回帰